6月号



きゅうしょく

江戸川区立平井小学校 校長 山下 靖雄 栄養士 坂本 暁

いよいよ学校が始まります! 給食を心待ちにしていた人も、多いのではないでしょうか。

Ø...•ji Ø...•ji

がっこうきゅうしょく

もくひょう

(学校給食法 第2条より)

しょくせいかつ しぜん おんけい うえ 食生活が自然の恩恵の上に

成り立つものであることに ついての理解を深め、生命及び自 ぜん そんちょう せいしんなら かんきょう 然を尊重する精神並びに環境の ほぜんきょ たいどゃしな 保全に寄与する態度を養うこと。



できせつ えいよう せっしゅ 適切な栄養の摂取によ けんこう ほじぞうしん はかる健康の保持増進を図



しょくせいかつ しょく かか ひとびと食生活が食に関わる人々 の様々な活動に支えられ ていることについての理解を ふか きんろう おも たいど 深め、勤労を重んずる態度を

りにもじょうせいかつ しょくじ 日常生活における食事ただ りかい について正しい理解を けんぜん しょくせいかつ いとな 深め、健全な食生活を営むこ はんだんりょく とができる判断力を

らか およ のぞ 培い、及び望ましい 食習慣を養うこと。



かくちいき わが国や各地域の優れでんとうてきしょくぶんか た伝統的な食文化につ いての理解を深めること。



がっこうせいかつ ゆた 学校生活を豊かにし 明るい社交性及び協同 せいしん やしな







しょくりょう せいさん りゅうつうおよ食料の生産、流通及び 消費について、正しい理





~ま・ご・わ・や・さ・し・ハ~

6月1日~12日までの2週間は、お予当給食です。予飲登校のため、2日間間に献立となっています。調理や配膳の がなぜんせい。こうりょ 安全性を考慮して、使用する食材を限定しています。そのため、ご家庭で意識していただきたいポイントを紹介します。



ま: 豊籟

(納笠、油揚げ、笠腐)

大豆は「畑の肉」とも呼ばれる たんぱく質の多い食材です。



ご:ごまなどの種実

(くるみ、ナッツ)

えがんだり、すりつぶして使うと、 食感や香りが良くなります。



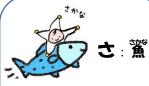
7: わかめなどの海道

(ひじき、のり、こんぶ)

ミネラルが豊富です。



切ったときに、断面の色が こ 濃いものを緑黄色野菜 いる 色が薄いものを ※色野菜と言います。

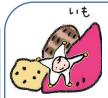


赤身魚、白身魚、青魚 など様々な種類が あります。



ノ:しいたけなど

食物せんいで、お麓の調学を 整えましょう。



い:いも

じゃがいもを主食とする国が あるほど、エネルギー源と なる食材です。

他に、乳製品や果物も積極的にとりたい食材です!





心身ともに健康で、毎日を生き生きと暮らすためには、「お げんだい たいせつ いしく楽しく食べる」ことがとても大切です。現代は、ライフ かぞく しょくじ スタイルの多様化により、家族そろって食事をする「共食」の けんきゅう 機会が減っているといわれますが、さまざまな研究データから、 きょうしょく けんこう しょくせいかっ かんけい 共食が健康な食生活に関係していることがわかってきました。 けいけん たの 子どものころから、「おいしく楽しく食べる」 経験を積み重ね にんげんせい はぐく ることは、豊かな人間性を育んでいくことにつながります。

しょくいく き ほんほう 食育とは(食育基本法より)

きほん 生きる上での基本であって、知育・徳育・ 体育の基礎となるものであり、さまざまな経 けん つう しょく かん ちしき しょく せん 験を通じて「食」に関する知識と「食」を選 つう たく ちから しゅうとく けんぜん しょくせいかつ じっせん 択する力を習得し、健全な食生活を実践する ことができる人間を育てること。

家庭では、こんな



もの ちょうり けいけん 買い物や調理などの経験は、 もの たいせつ こころ はぐく 食べ物を大切にする心を育

みます。

共食の回数を

テレビを消して、会話を楽しみながら ゆっくり食事する機会をつくりましょう。



早寝・早起き・朝ごはんで、 せいかつ 生活リズムを整えましょう。

バランスを 識するで

主食・主菜・副菜をそろえる と、栄養のバランスがよくな

ります。

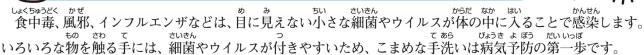


ままっとしょく ままっとりょうり 行事食や郷土料理 を取り入れる(882

"わが家の味"を子どもたち へ伝えてあげてください。

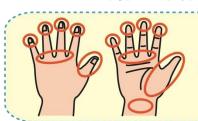
まだまだ油断できない!

あら しょくちゅう どく びょう き ょ ぼう ほん





せっけんを使って丁寧に せいけつ 洗い、清潔なハンカチや すいぶん タオルで水分をふきま しょう。



たい残しの多い 部分も意識 して洗いましょう。